

2023年9月1日

いろは新聞

ニュースレター VOL. 6

発行：デイサービスいろは

〒402-0024 都留市小野632-1

☎0554-56-8755



毎日が防災の日繋がっている

1923(大正12)年9月1日に関東大震災が発生し、その時には台風の強風も影響して大規模な火災となりました。この関東大震災を由来として、9月1日が「防災の日」とされました。日本は自然災害が多く、日頃からの備えが不可欠です。いつ起きるか分からない災害に対して、私たちは避難訓練をして備えますが、年に1回、避難訓練をするだけでは、いざという時に行動することは難しいと思います。私達は日頃から生活の中の活動を通して、自分の身を守る力をつけています。毎日、継続して保育園の園庭まで歩いて行くことも健康の為だけではなく、「自分の足で歩く」という避難行動に繋がっているように思います。また、子ども達との交流や、祝日のラジオ体操イベントでは地域の方々と顔見知りになることで、声を掛け合える関係性ができ、災害時の心の拠り所や助け合いに繋がるのではないのでしょうか？顔見知りであれば、声もかけやすいですね。災害なく安全に安心して過ごせることが何よりですが、普段から当たり前のようになっている活動が、きっといざという時に役立つと信じています。



7月28日の「夏祭り2023」動画が完成しました！右記のQRコードを読み取ると動画がご覧いただけます。➡➡➡



「やりたい」瞬間を逃さない

デイサービスいろはは真福寺の隣に事業所を構えており、利用者さんの中には檀家さんもあります。お墓を見たら「塔婆を立てに行きたい」「お盆だからお墓参りしたい」と思うのは当然です。身体が思うように動かなくても、車椅子であっても、「やりたい」と気持ちが動いた瞬間を見逃さずにできる限り実現できるよう、皆さんの気持ちが動く瞬間に立ち会っていきたいと思います。



いろはの介護は 最小限のサポートと最大限の愛でできている

障がい者や高齢者等の生活を支援する、介抱して世話をすることが「介護」とイメージしている方も多く、世間一般では「3K」と言われることもあるかと思いますが、実際はどうでしょうか？身体や心に何らかの障害を抱えた方が、その人らしく生活していく為には誰かの手を借りなければならない事もあります。「お風呂に入れる」「排せつの介助をする」「食事を提供する」だけではなく、様々な生活動作の中で、利用者さんが自分自身でできる事はどんな事かを見極め、その力を引き出す為に最小限のサポートと最大限の愛情を持って、いろはの介護職員は利用者さんに関わっています。「なんでもしてあげる」ことは利用者さんの為にならないと、時には厳しい言葉をかける事もありますが、必ず利用

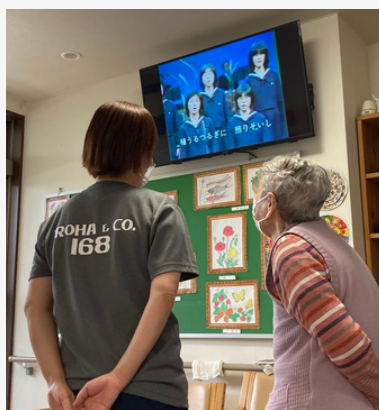
介護の3K

きつい
危険
汚い



本当の介護の3K

感謝を分かち合う
感動できる
心が繋がる



者さんが元気になって、生活が豊かになると信じて、愛を持って接しています。利用者さんが毎日笑顔でいろはに来られるように、少しでも楽しい時間を過ごしていただけるように、声をかけたり、見守ったり、時には一肌脱いだり...。利用者さんの心の拠り所となれるよう、安心して胸の内を語れる相手の一人としても私達がいます。

敬老の日はもちろん！ ラジオ体操！

9月18日(月)の敬老の日も、いつものようにラジオ体操をします。月曜日から金曜日は園庭でラジオ体操をすることが、いろはの日常です。一緒に身体を動かして、敬老の日を元気に過ごしてみませんか？残暑厳しいですが、参加を待っています！

